



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 スパークス・グループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8739 URL <https://www.sparx.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 阿部 修平  
 グループCIO  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 グループ上席執行役員 (氏名) 峰松 洋志 TEL 03-6711-9100  
 グループCFO  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有 2025年7月31日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。  
 決算説明会開催の有無：有 決算補足資料を開示した後、当社ウェブサイト上で映像配信の形で決算説明させていただきます。

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,981	△6.4	1,523	△12.8	1,564	△13.4	1,633	45.8
2025年3月期第1四半期	4,254	13.8	1,746	6.2	1,807	1.4	1,120	△44.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,307百万円 (12.0%) 2025年3月期第1四半期 2,059百万円 (△41.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	41.18	—
2025年3月期第1四半期	28.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	48,383	32,824	67.8	830.58
2025年3月期	49,939	33,507	67.1	845.64

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 32,824百万円 2025年3月期 33,507百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	68.00	68.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2026年3月期の配当予想につきましては、業績予想を開示していないため、配当予想額は未定であります。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループの主たる事業である投信投資顧問業は、業績が経済情勢や相場環境によって大きな影響を受ける状況にあるため将来の業績予想は難しいと認識しております。

なお、当社グループの重要な経営指標の一つである運用資産残高につきましては、原則として毎月月初5営業日以内に、前月末速報値を別途開示しておりますのでご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	41,507,780株	2025年3月期	41,705,480株
2026年3月期1Q	1,988,459株	2025年3月期	2,081,899株
2026年3月期1Q	39,654,581株	2025年3月期1Q	39,764,267株

(注1) 当社は、2025年6月30日付で自己株式の消却（197,700株）を行っております。

(注2) 期末自己株式数には、株式付与E S O P信託及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式を含めております（2026年3月期1Q 1,327,929株、2025年3月期 1,421,389株）。また、期中平均株式数の計算においては、株式付与E S O P信託口の所有する当社株式を、控除する自己株式を含めております（2026年3月期1Q 1,342,307株、2025年3月期1Q 1,490,879株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、上記「3. 2026年3月期の連結業績予想」に掲げた理由から、配当予想額についての記載をしておりません。配当額が確定した時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期の日本株式市場は、米国の通商政策や金融政策の不透明感、さらには地政学リスクの影響を受けつつも、関税緩和期待や日銀・米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の安定を背景にリスク選好が強まり、堅調な展開となりました。期初は関税発表による市場の動揺と混乱が見られましたが、5月に入って関税交渉の進展期待や円安の追い風を受けて大幅に上昇しました。中東情勢の激化や米国によるイラン核施設への空爆報道により一時的にリスク回避ムードが広がりましたが、その後は地政学的懸念が早期に沈静化したことや米国株式市場の反発を受けて、日本株式市場も上昇基調に転じました。さらに、トランプ米大統領の停戦に関する発言や米連邦準備制度理事会（FRB）高官による利下げ示唆が投資家心理を押し上げ、リスクオンムードが広がりました。その結果、日経平均株価は年初来高値を更新し前期末に比べ13.7%上昇し40,487.39円で取引を終えました。

このような市場環境のもと、当社グループの当第1四半期末運用資産残高は、1兆9,856億円（注1）と前期末に比して6.1%の増加となりました。

当第1四半期における残高報酬（注2）は、主に投資信託の運用資産残高が減少し委託者報酬が減少したことにより、前年同期比4.3%減の38億5百万円となりました。また、成功報酬（注3）は、前年同期比35.2%減の1億46百万円となり、営業収益は前年同期比6.4%減の39億81百万円となりました。

営業費用及び一般管理費に関しては、前年同期比2.0%減の24億58百万円となりました。これは、主に公募投信の平均運用資産残高減少に伴う支払手数料の減少によるものです。

この結果、営業利益は前年同期比12.8%減の15億23百万円、経常利益は支払利息の増加等により、前年同期比13.4%減の15億64百万円となりました。また、投資有価証券売却益7億75百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比45.8%増の16億33百万円となりました。

なお、事業の持続的かつ安定的な基盤となる収益力を示す指標である基礎収益（注4）は前年同期比12.0%減の15億71百万円（前年同期は17億85百万円）となりました。

（注1）当第1四半期末（2025年6月末）運用資産残高は速報値であります。

（注2）残高報酬には、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所等の管理報酬を含んでおります。

（注3）成功報酬には、株式運用から発生する報酬の他、日本再生可能エネルギー投資戦略に関連する発電所スキームの組成の対価等として受ける一時的な報酬（アクイジションフィー）を含んでおります。

（注4）基礎収益とは、経常的に発生する残高報酬（手数料控除後）の金額から経常的経費を差し引いた金額であり、当社グループの最も重要な指標のひとつであります。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて15億55百万円減少し、483億83百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金が35億5百万円の減少、未収入金が4億36百万円の増加、未収委託者報酬が8億13百万円の増加、未収投資顧問料が1億89百万円の減少、仕掛販売用不動産が7億68百万円の増加、投資有価証券が1億30百万円の増加となっております。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億72百万円減少し、155億59百万円となりました。主な増減内訳は、未払手数料が3億24百万円の増加、未払金が11億83百万円の減少、未払法人税等が9億4百万円の減少、預り金が4億48百万円の増加、繰延税金負債が3億95百万円の増加となっております。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億82百万円減少し、328億24百万円となりました。主な増減内訳は、資本剰余金が3億35百万円の減少、利益剰余金が11億57百万円の減少、自己株式が1億35百万円の減少、その他有価証券評価差額金が6億13百万円の増加となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	21,385	17,879
前払費用	456	445
未収入金	902	1,339
未収還付法人税等	9	14
未収委託者報酬	1,571	2,385
未収投資顧問料	1,477	1,288
預け金	203	203
仕掛販売用不動産	577	1,346
その他	285	283
貸倒引当金	△237	△233
流動資産計	26,631	24,953
固定資産		
有形固定資産	3,389	3,387
無形固定資産	12	11
投資その他の資産		
投資有価証券	19,468	19,598
差入保証金	181	183
長期前払費用	145	177
退職給付に係る資産	13	10
繰延税金資産	97	60
投資その他の資産合計	19,906	20,030
固定資産計	23,307	23,429
資産合計	49,939	48,383

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	2,000	2,000
リース債務	1,788	1,565
未払手数料	372	697
未払金	1,777	593
未払法人税等	1,444	539
預り金	33	481
賞与引当金	3	203
株式給付引当金	99	43
長期インセンティブ引当金	1	0
その他	467	538
流動負債計	7,988	6,664
固定負債		
長期借入金	7,000	7,000
株式給付引当金	181	148
長期インセンティブ引当金	1	0
役員株式給付引当金	—	0
繰延税金負債	682	1,078
その他	577	667
固定負債計	8,443	8,895
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	0	0
特別法上の準備金合計	0	0
負債合計	16,432	15,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,587	8,587
資本剰余金	1,481	1,146
利益剰余金	23,497	22,339
自己株式	△3,222	△3,087
株主資本合計	30,343	28,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,933	2,546
為替換算調整勘定	1,245	1,307
退職給付に係る調整累計額	△14	△15
その他の包括利益累計額合計	3,164	3,838
非支配株主持分	0	0
純資産合計	33,507	32,824
負債・純資産合計	49,939	48,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益		
委託者報酬	2,339	2,112
投資顧問料	1,778	1,728
その他営業収益	135	141
営業収益計	4,254	3,981
営業費用及び一般管理費	2,508	2,458
営業利益	1,746	1,523
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	15	15
為替差益	43	26
持分法による投資利益	9	32
雑収入	18	9
営業外収益計	105	98
営業外費用		
支払利息	16	41
支払手数料	—	2
投資事業組合運用損	21	10
雑損失	6	2
営業外費用計	44	57
経常利益	1,807	1,564
特別利益		
投資有価証券売却益	—	775
特別利益計	—	775
税金等調整前四半期純利益	1,807	2,339
法人税、住民税及び事業税	491	514
法人税等調整額	192	191
法人税等合計	683	706
四半期純利益	1,123	1,633
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,120	1,633

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,123	1,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	805	613
為替換算調整勘定	130	62
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	936	674
四半期包括利益	2,059	2,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,057	2,307
非支配株主に係る四半期包括利益	2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の変動に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	48百万円	81百万円
のれんの償却額	27百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、投信投資顧問事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。